

令和2年度調理師試験問題における不適切な問題について

公益社団法人調理技術技能センターが委任を受けて令和2年10月10日(土)に実施した青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県、石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県の令和2年度調理師試験において、試験問題の一部に不適切な問題があることが判明しました。

受験者の皆様及び関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

【不適切な問題】

(1) 食品衛生学 問31

調理場の構造に関する記述について、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 床面は、できるだけドライシテムが望ましい。
- 2 湿度は80%以下、温度は25℃以下に保つことが望ましい。
- 3 全般的標準照度は、150ルクス (lx) 以上に保つ。
- 4 床から1mまでの壁の部分は、1週間に1回以上は清掃する。

① 不適切な理由

選択肢1に脱字があったため。

② 採点上の取扱い

当該問題については、受験者全員を正答とします。

(2) 調理理論 問48

新調理システムに関する記述で、に入る語句の組み合わせとして、正しいもの一つを選びなさい。

『 A システムとは、食材を加熱調理後、冷水または冷風により90分以内に中心温度を B °C以下まで急速冷却する方法である。』

	A	B
1	クックチルシステム _____	3
2	クックサーブシステム _____	0
3	クックフリーズシステム _____	-10
4	真空調理法 _____	3

① 不適切な理由

問題文に不必要な「システム」の文字が入っているため。

② 採点上の取扱い

当該問題については、受験者全員を正答とします。